

平成20年10月21日
消 防 庁

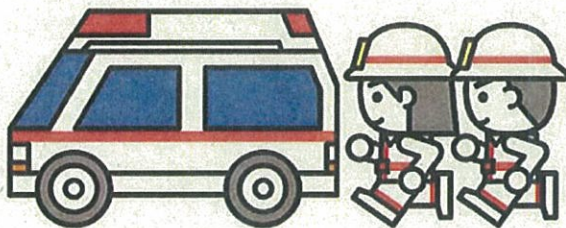
平成20年9月の熱中症による救急搬送の状況

総務省消防庁では、平成20年9月の熱中症による全国の救急搬送の状況をとりとまとめたので、その概要を公表します。

総務省消防庁では、これまでに平成20年7月及び8月の熱中症による全国の救急搬送の状況を公表したところですが、この度、平成20年9月の結果がまとまったので公表します。

【別添資料】

- 平成20年9月の熱中症による救急搬送状況（都道府県別）（別添1）
- 熱中症による救急搬送比率（別添2）
- 平成20年9月の熱中症による救急搬送状況（日別）（別添3）
- 平成20年9月の熱中症による救急搬送状況（年齢、傷病程度別）（別添4）
- 平成20年7月から9月までの熱中症による救急搬送状況（都道府県別）（別添5）



（連絡先）

消防庁救急企画室

担当：松野補佐、島田係長

電 話：03-5253-7529

FAX：03-5253-7539

【ポイント】

- ・ 平成 20 年 9 月の全国における総救急搬送人員は 367,265 人で、そのうち熱中症による救急搬送人員は 1,467 人 (0.4%) でした。これは、平成 19 年 9 月の熱中症による救急搬送人員 3,928 人の 37.3% となっています。熱中症による救急搬送人員の総救急搬送人員に対する割合について、平成 20 年 9 月と平成 19 年 9 月を比べると、平成 20 年は、秋田県と神奈川県と同率を除き、45 都道府県で減少しています。また、平成 20 年 9 月の熱中症による救急搬送人員は、平成 20 年 8 月の 8,857 人の 16.6% の水準にとどまっています。
- ・ 熱中症による救急搬送人員の年齢区分をみると、成人が 684 人 (46.6%) と最も多く、次いで高齢者 (65 歳以上) が 533 人 (36.3%) になっています。特に、高齢者は、人口構成割合 (統計局人口推計、平成 20 年 9 月) の 22.0% と比べると、熱中症による救急搬送人員の比率が高いことがわかります。
- ・ 熱中症により搬送された医療機関での初診時における傷病程度をみると、軽症が最も多く 975 人 (66.4%)、次いで中等症 450 人 (30.7%)、重症 22 人 (1.5%) の順となっています。また、死亡は報告されませんでした。
 - ※ 軽 症：入院を必要としないもの
 - 中等症：重症または軽症以外のもの
 - 重 症：3 週間の入院加療を必要とするもの以上
 - 死 亡：医師の初診時に死亡が確認されたもの
- ・ 平成 20 年 7 月から 9 月までの全国における熱中症による救急搬送人員は 23,071 人でした。これは、平成 19 年同期の熱中症による救急搬送人員 23,782 人とほぼ同じ水準となっています。

平成 19 年は、梅雨明けとなった 8 月に埼玉県熊谷市や岐阜県多治見市等で記録的な最高気温が観測され、熱中症による救急搬送人員も 8 月にピークをむかえましたが、平成 20 年は、7 月下旬に梅雨が明け、その後、猛暑日が全国各地で観測され、熱中症による救急搬送人員も 7 月下旬にピークをむかえたところであり、8 月中旬以降は減少しています。

(参考)

- ・ 政府では、下記の HP で熱中症の情報を提供しています。
- ・ 環境省熱中症情報
(http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/)

平成20年9月の熱中症による救急搬送状況(都道府県別)

別添1

都道府県	総搬送人員(人)		うち熱中症搬送人員(人)		総搬送人員に対する割合(%)		昨年比(c)/(d)
	平成20年(a)	平成19年(b)	平成20年(c)	平成19年(d)	平成20年(c)/(a)	平成19年(d)/(b)	
1 北海道	15,292	14,525	13	53	0.1%	0.4%	0.25
2 青森県	3,109	2,979	5	13	0.2%	0.4%	0.38
3 岩手県	3,003	2,878	12	21	0.4%	0.7%	0.57
4 宮城県	5,942	6,416	10	46	0.2%	0.7%	0.22
5 秋田県	2,627	2,683	17	15	0.6%	0.6%	1.13
6 山形県	2,805	2,846	19	44	0.7%	1.5%	0.43
7 福島県	5,032	5,312	20	65	0.4%	1.2%	0.31
8 茨城県	7,797	8,073	40	84	0.5%	1.0%	0.48
9 栃木県	4,875	5,087	20	50	0.4%	1.0%	0.40
10 群馬県	5,249	5,402	19	73	0.4%	1.4%	0.26
11 埼玉県	18,495	19,599	74	158	0.4%	0.8%	0.47
12 千葉県	17,925	18,870	71	129	0.4%	0.7%	0.55
13 東京都	46,382	49,552	55	114	0.1%	0.2%	0.48
14 神奈川県	26,659	27,238	70	77	0.3%	0.3%	0.91
15 新潟県	6,166	6,313	38	100	0.6%	1.6%	0.38
16 富山県	2,482	2,494	4	16	0.2%	0.6%	0.25
17 石川県	2,626	2,606	7	40	0.3%	1.5%	0.18
18 福井県	1,744	1,793	8	25	0.5%	1.4%	0.32
19 山梨県	2,459	2,593	11	14	0.4%	0.5%	0.79
20 長野県	5,726	5,974	13	31	0.2%	0.5%	0.42
21 岐阜県	5,262	5,702	22	91	0.4%	1.6%	0.24
22 静岡県	9,850	10,085	47	89	0.5%	0.9%	0.53
23 愛知県	19,229	20,637	134	200	0.7%	1.0%	0.67
24 三重県	5,542	5,830	16	53	0.3%	0.9%	0.30
25 滋賀県	3,779	3,982	7	34	0.2%	0.9%	0.21
26 京都府	8,273	9,151	30	133	0.4%	1.5%	0.23
27 大阪府	32,583	35,648	144	549	0.4%	1.5%	0.26
28 兵庫県	15,097	16,427	64	244	0.4%	1.5%	0.26
29 奈良県	3,975	4,288	17	71	0.4%	1.7%	0.24
30 和歌山県	3,173	3,393	17	52	0.5%	1.5%	0.33
31 鳥取県	1,556	1,613	7	17	0.4%	1.1%	0.41
32 島根県	1,882	2,077	9	30	0.5%	1.4%	0.30
33 岡山県	5,377	5,730	42	93	0.8%	1.6%	0.45
34 広島県	8,360	8,739	46	217	0.6%	2.5%	0.21
35 山口県	4,314	4,707	15	44	0.3%	0.9%	0.34
36 徳島県	2,176	2,087	11	28	0.5%	1.3%	0.39
37 香川県	3,004	3,195	21	28	0.7%	0.9%	0.75
38 愛媛県	4,135	4,303	34	79	0.8%	1.8%	0.43
39 高知県	2,447	2,658	18	43	0.7%	1.6%	0.42
40 福岡県	14,663	14,926	44	190	0.3%	1.3%	0.23
41 佐賀県	2,224	2,221	28	60	1.3%	2.7%	0.47
42 長崎県	3,714	3,788	18	52	0.5%	1.4%	0.35
43 熊本県	5,091	5,355	33	92	0.6%	1.7%	0.36
44 大分県	3,195	3,473	13	64	0.4%	1.8%	0.20
45 宮崎県	2,646	2,708	36	53	1.4%	2.0%	0.68
46 鹿児島県	4,884	5,082	46	105	0.9%	2.1%	0.44
47 沖縄県	4,439	4,304	22	49	0.5%	1.1%	0.45
合計	367,265	385,342	1,467	3,928	0.4%	1.0%	0.37

※ 平成19年の調査において、22の消防本部で熱中症による搬送人員が集計不能となっています。

(北海道 2、岩手県 1、山形県 2、埼玉県 4、富山県 2、静岡県 2、愛知県 4、山口県 1、福岡県 2、熊本県 2)

※ 平成19年の調査において、108の消防本部で熱中症による搬送人員の中に熱中症の疑いによる搬送人員が含まれていません。

(北海道 66、宮城県 2、茨城県 2、栃木県 2、千葉県 2、新潟県 2、長野県 2、三重県 5、愛媛県 8、高知県 6、福岡県 7、沖縄県 4)

※ 平成20年の調査は、熱中症の疑いを含めて調査しています。